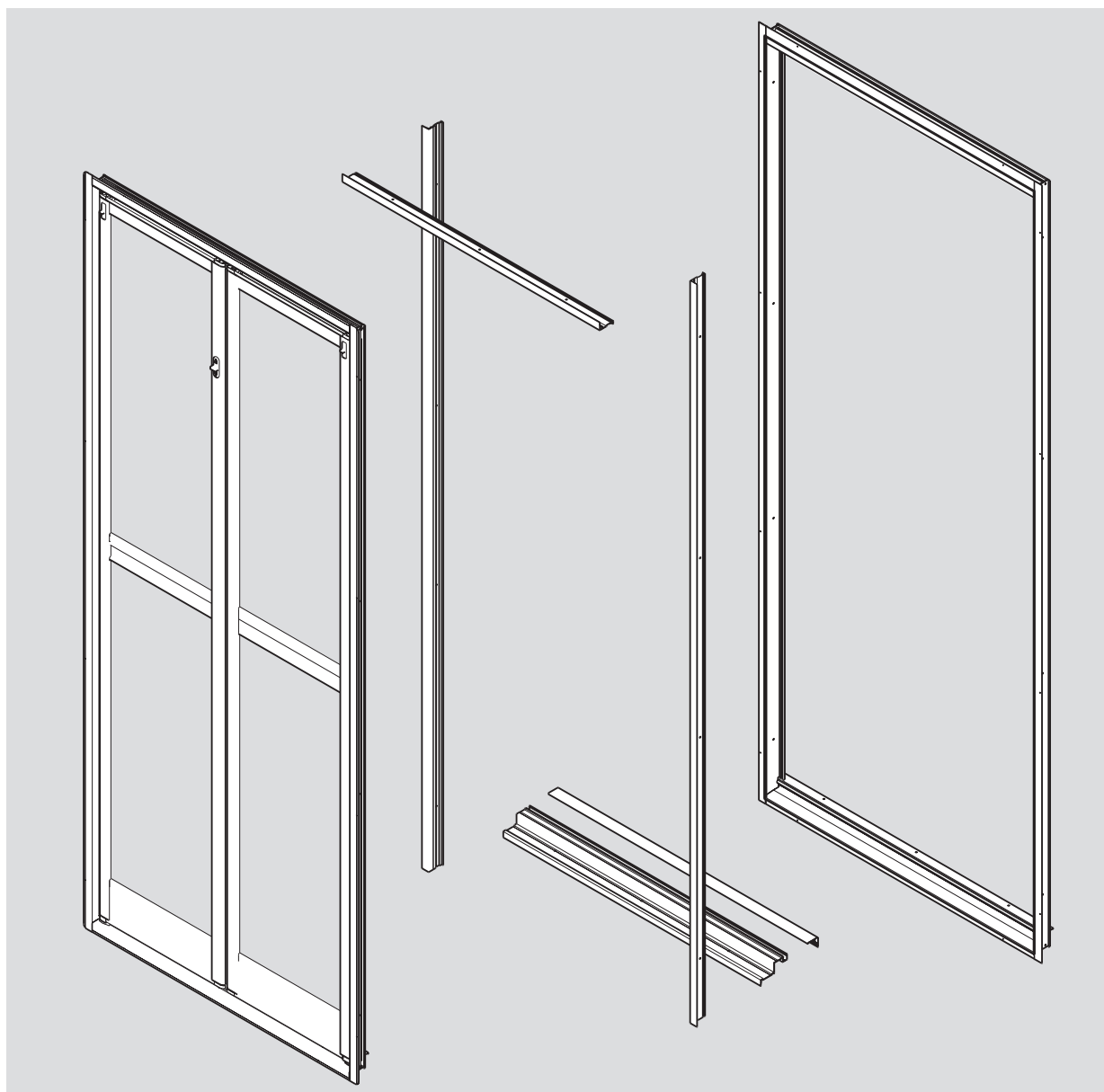


TOSTEM

工事店さま用

浴室ドア 改装用部材

施工説明書



施工上のお願い

- 現場施工に入る前に製品基本寸法が現場と合っている事を確認してください。
- カバー材は現場の納まりに合わせて切り詰めてください。

図番	用紙サイズ	形式	折数	設指番号
D932C14002-001	A4(1C/28P)	中とじ		DH-08106

目次

■施工される方へのおねがい	1～2
■「浴室ドア 改装用部材」とは	3
■施工工程モデル	4
■現場施工までの準備	5
■納まり参考図	6
■製品の加工	7～8
■製品の取付け	9～12
■新しい枠の取付け	13～17
■取付けチェックポイント集	18～23

施工される方へのお願い

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告…取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●内釜式の燃焼器具を使用する場合は、必ず別途に適切な換気設備を設置してください。換気設備がない場合、酸欠や一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。（本製品の換気窓は自然換気だけの機能のため、換気能力が不足します。

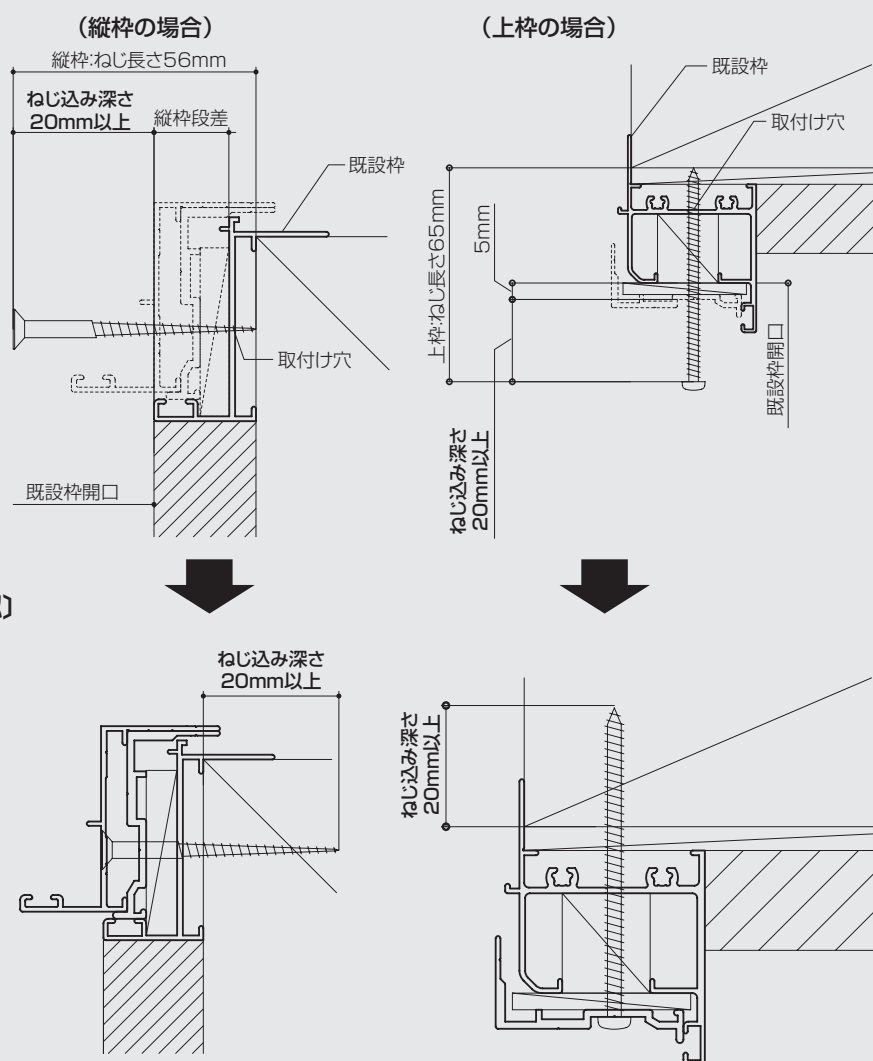
▲ 注 意

- ドア本体・枠脱落防止のため下記事項を厳守してください。
 - ・ 木造・床納まりにのみ本製品を使用してください。
 - ・ 躯体に取付ける際は、ねじ込み深さを必ず20mm以上にしてください。
 - ・ 躯体に取付ける際は、枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじ込み深さ20mmの時、 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上であることを確認してください。
 - ・ ドア取付け後、上下ヒンジが、浴室側から見て必ずレールにはめ込まれていることを確認してください。
 - ・ 必ず指定の取付けねじで固定してください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・ 上・縦枠用取付けねじは、コーキングワッシャー組込み式のため、そのまま外さないでねじ止めしてください。
 - ・ 枠とドアのねじれ・水平・垂直を必ず調整してから固定してください。
 - ・ 指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

【ねじ込み深さの確認】

躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、既設枠開口からねじ頭までの長さが、上枠は25mm以上、縦枠は20mm以上であることを確認してください。上記寸法未満の場合は脱落のおそれがある為取付けしないでください。

※縦枠用…ねじ長さ56mm
※上枠用…ねじ長さ65mm



【取付ける柱のねじ込みトルクの確認】

製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクはねじ込み深さ20mmの時 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上であることを確認してください。 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ 未満の場合は脱落のおそれがある為取付けしないでください。

「浴室ドア 改装用部材」とは…

●「浴室ドア 改装用部材」は、既設のドア枠(※1)の上から新しい枠を取付ける場合の改装用補助部材として設計されています。

(※1)トステム対象商品名 「浴室ドアB型」「ロンカラー浴室ドア」「旧ロンカラータオル掛け」「ロンカラータオル掛け付浴室ドア」「中折Ⅱ型浴室ドア」「新中折Ⅲ型」「中折Ⅲ型」「浴室中折ドア(旧)」「浴室中折ドア」「浴室中折ドアME型(内付型)」

(※2)その他商品 上記以外の商品については、製品取付強度が確保できないため、取付け不可とします。

- 製品特長
1. 枠の取外し及び付帯工事が不要なため、外壁や内装を傷付けません。
 2. 部材の加工・組立てが簡単です。
 3. カバー材に調整幅が設けてあるため、下枠段差を目立たなく納められます。

施工工程モデル

施工工程	概 要
お施主様との打合わせ	●現場を確認し、既設浴室への取付可否を調査します。 ●使用する新ドア製品の寸法を決定・見積りし、工事希望日を確認します。 ●新ドア製品と改装用部材を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。
施工前の作業	●既設枠開口に合わせ、ベース材を切詰め、穴あけ加工します。
製品の組立て	●ノックダウン品を手配した場合、工事日までに製品を組立てます。
既設ドアの取外し	●製品基本寸法が現場に合う事を確認します。 ●工具を準備し、既設ドアを取外します。
ベース材の取付け	●開口部の水平・垂直を正しく出し、ベース材を取付けます。
新しい枠・ドアの取付け	●新しい枠・ドアをベース材に取付けます。
枠外周部のシーリング処理	●水仕舞の処理のため、シーリングをします。
カバー材の取付け	●床高さに合せて、カバー材を切詰めます。 ●カバー材をベース材(下)に取付けます。
枠・指定個所のシーリング処理	●水仕舞の処理のため、シーリングをします。
把手の取付け・吊元交換	●把手を取付けます。 ●浴室側から見て左吊元にする場合、吊元を交換します。
お引渡し	●お施主様に製品を引き渡します。

現場施工までの準備

■現場施工までの準備

1 既設枠開口寸法の測定と取付け可否の調査

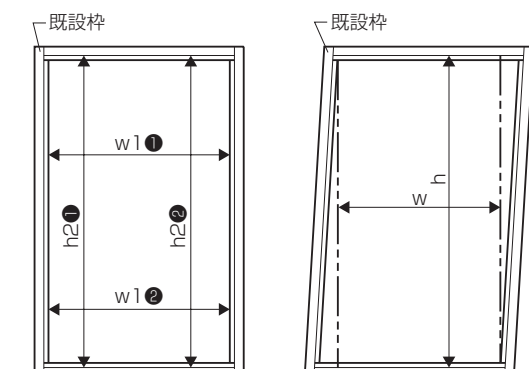
※P.18～23の取付けチェックポイント集に従い、既設浴室への取付け可否を調査します。

- ①既設枠の断面形状を確認します。
- ②「取付けチェックポイント集」(P.18～23)を参考に既設枠開口のw1とh2を2個所以上測定し、小さい方を既設枠開口寸法とします。

※右図のように既設枠に狂いがある場合は、水平・垂直をみて寸法を測ってください。

- ③枠の段差寸法、枠からタイルまでの寸法を測定し、基本寸法公式からドア製品基本寸法を設定します。(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)

※新ドア製品基本寸法が製作範囲内(P.18)である事を確認してください。



2 ドア製品の決定

- 取付け可能であれば、製品基本寸法を設定し下記項目を決定します。

- ①ドア製品の製品色、出荷形態
- ②工事費の見積り(既設ドアの取外し・製品の切詰め・組立て・取付け費など)
- ③工事日

3 製品内容物・使用工具一覧の確認

■下枠用部材

※取付けねじ本数は、取付け穴より多めに入っています。

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
ベース材(下)	カバー材	ナベタッピンねじ φ4×40(1種)	ナベタッピンねじ φ4×65(1種)	皿テクスねじ φ4×13	ナベテクスねじ φ4×10	止水シール材
L=800mm	L=800mm	ベース材用(短)	ベース材用(長)	下枠用	下枠用	下枠用

■上・縦枠用部材

※取付けねじ本数は、取付け穴より多めに入っています。

チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ
施工説明書	ベース材(上)(縦)	ナベタッピンねじ φ4×40(1種)	ナベタッピンねじ φ4×65(1種)	ナベテクスねじ φ4×10	皿テクスねじ φ4×16	皿木ねじ φ3.8×56
(本書)	(上)L=800mm (縦)L=2000mm	ベース材用(短)	ベース材用(長)	上枠用 縦枠用	上枠用	縦枠用

■使用工具一覧

電動ドリル・電動ドライバー	ドリル刃	プラスビット	プラスドライバー
鉄ノコ	カッター	コーキングガン	ペンチ

※その他の工具…グラインダー、丸ノコ、Pカッターなど

■別途手配部品

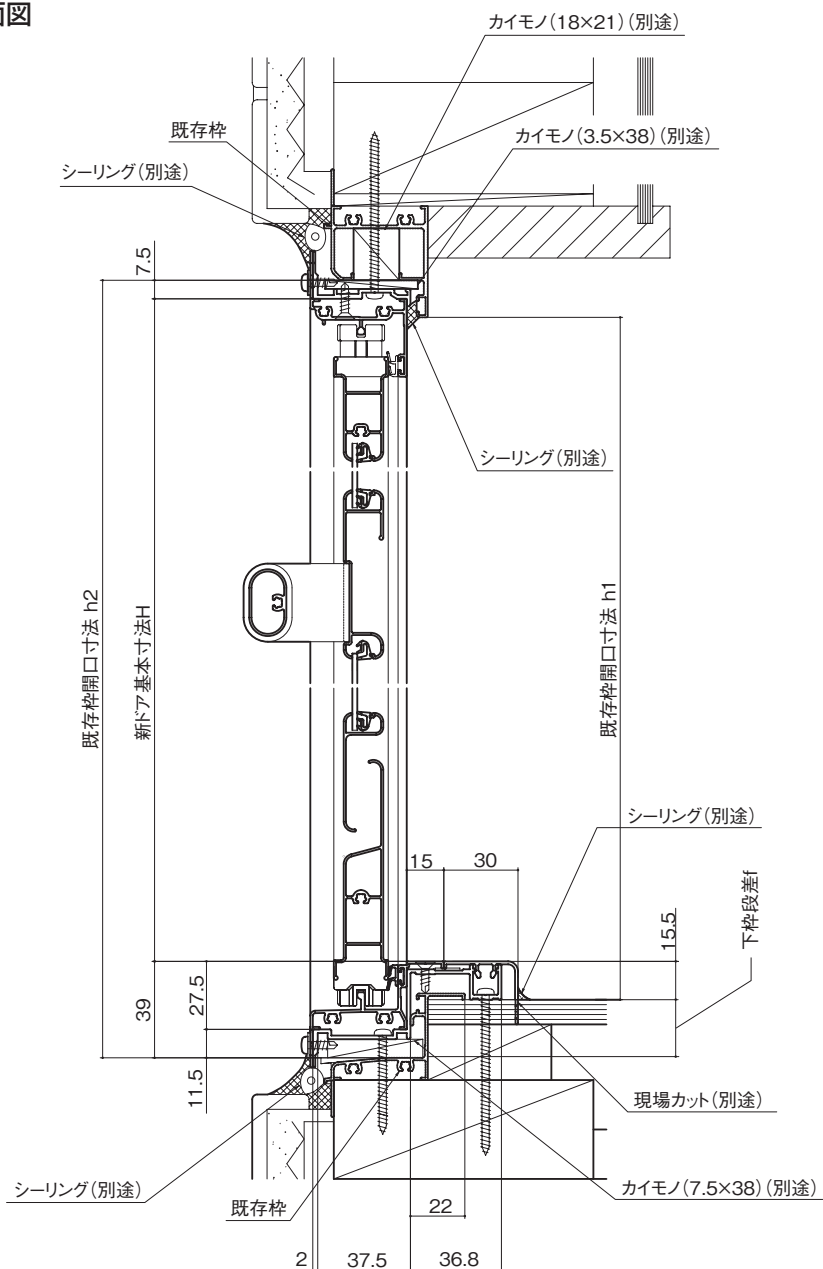
※バックアップ材、マスキングテープ、プライマー、コーキング材

■別売部品一覧

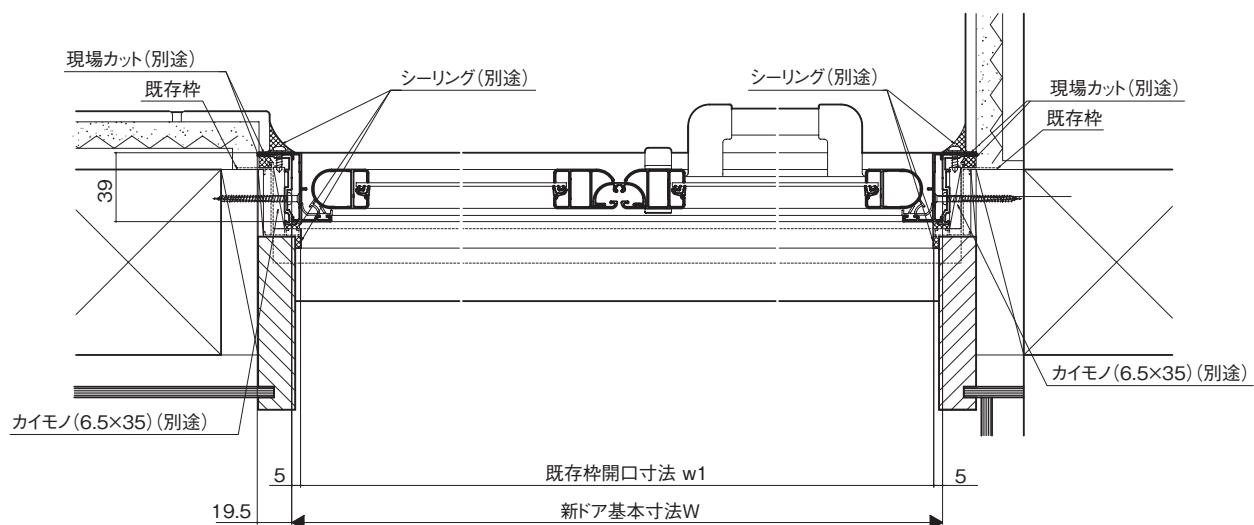
取付けスペーサーセット(樹脂)	
5mm厚	1.5mm厚
サイズ:30mm×30mm 20枚入	サイズ:60mm×30mm 40枚入
計60枚入り 商品コード:D9TZ0501	

納まり参考図

■縦断面図

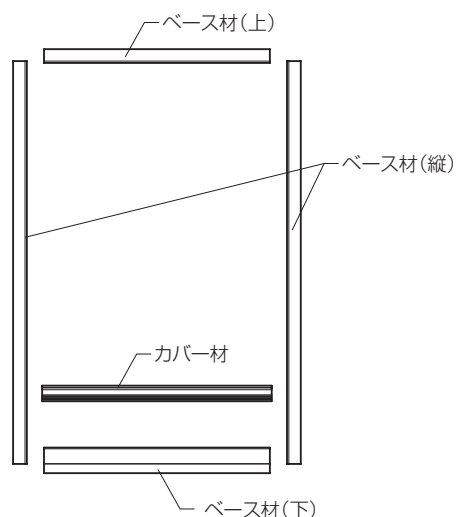


■横断面図



製品の加工

■部品構成図



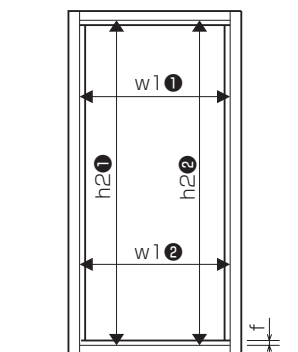
■製品の加工

1 部材の切断

①下表に既設枠の各寸法を記入し、新ドアの製品寸法を算出します。

(単位:mm)

既設枠開口寸法		新ドア製品寸法	
		基本寸法	基本寸法公式
h2	h2❶:	H=	f≤16のとき H=h2(※)−39
	h2❷:		
f: (下枠段差)			
w1	w1❶:	W=	W=w1(※)+10
	w1❷:		
mw: (木額内法W)		※既設枠開口寸法はh2・w1とも各2個所以上測定し、そ	



②下表の切断寸法計算式に合せて、部材を切断してください。

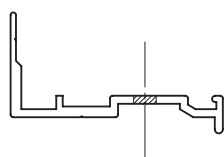
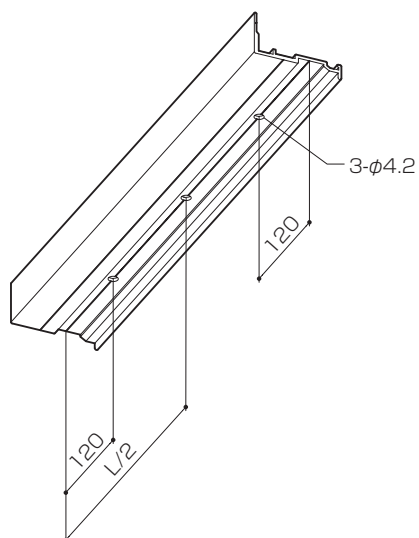
○・・・加工要:△・・・切断のみ:X・・・加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工要否
縦部材	ベース材(縦)	L=	$L = H + 27.5$	指定なし	2本	○
横部材	ベース材(上)	L=	$L = W - 12$	指定なし	1本	○
	ベース材(下)	L=	$L = W - 12$	指定なし	1本	○
	カバー材	L=	$L = mw - 1$	指定なし	1本	△

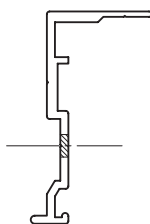
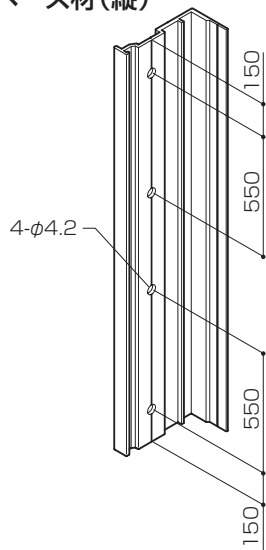
2 穴あけ加工

●部材切断後、部材のV溝に合わせ下図のピッチでφ4.2(～φ4.5)の穴あけ加工してください。

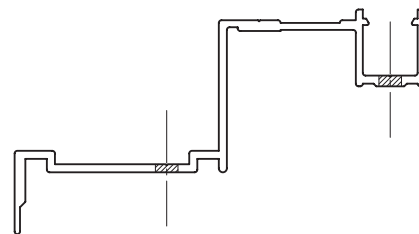
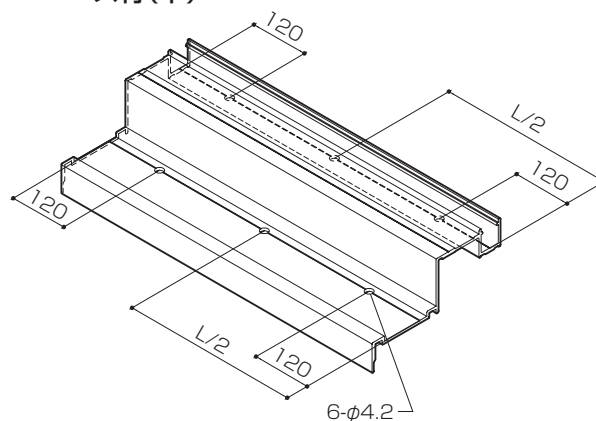
ベース材(上)



ベース材(縦)



ベース材(下)



3 ベース材、枠のフィンのカット

●巻末の“取付け現場の採寸確認事項”において、a、b、c寸法条件により、ベース材、新しい枠のフィンをカットします。

a≤19のとき	b≤24のとき	c≤12のとき
ベース材(上)	ベース材(縦)	ベース材(下)
新しい枠(上)	新しい枠(縦)	新しい枠(下)

製品の取付け

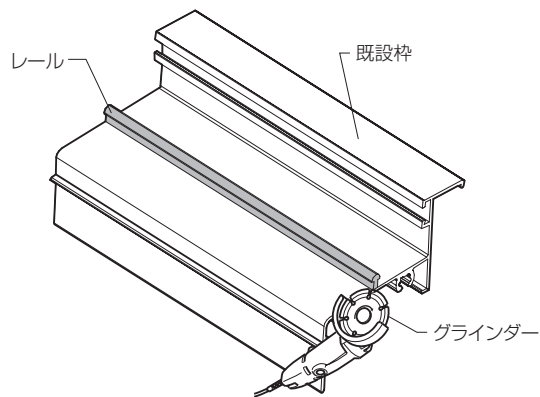
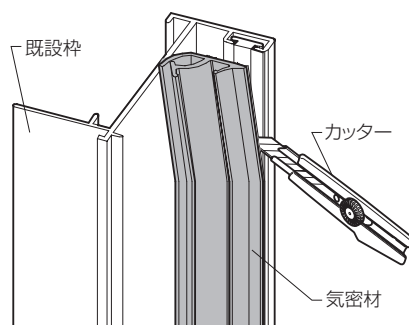
■取付け順序

1 既設ドアの取外し

■取付け詳細

1 既設ドアの取外し

- ① 既設のドア本体を取外します。
- ② 枠に取付いている部品(気密材など)がある場合、取外すか露出している部分をカッターなどでカットします。
- ③ 取付けに支障をきたすレールなどが既設枠にある場合はレールの付け根からグラインダーなどで取除きます。

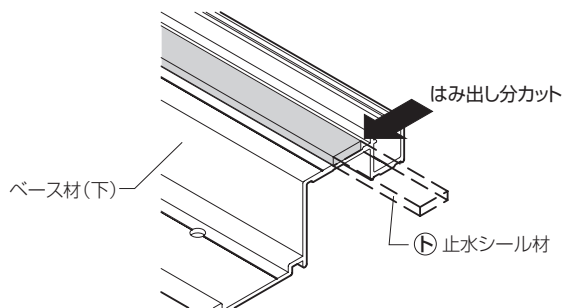


2 ベース材の取付け

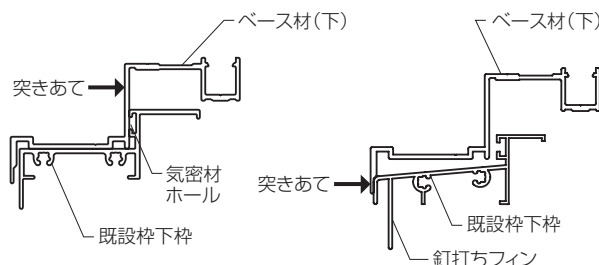
2 ベース材の取付け

■ベース材(下)の取付け

- ① ベース材(下)に止水シール材を張付けます。
※ベース材(下)の端部に合わせて張付け、ベース材(下)からはみ出した分はカットしてください。

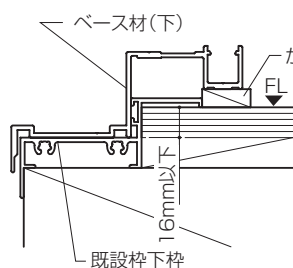


- ② 既設枠下枠の気密材ホールに、浴室側からベース材(下)を突きあてます。
※既設枠の見込み寸法によっては、既設枠下枠の釘打ちフィンに突きあてます。

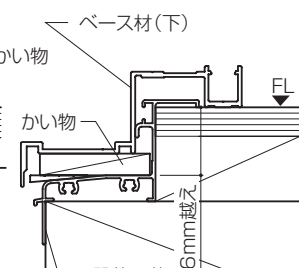


- ③ かい物を使用して、ベース材(下)を水平にします。
※既設枠下枠の段差が16mm以下の場合、脱衣室床に、16mmを超える場合は既設枠下枠の間にかい物を入れてください。部材の切断(P.7)にて発生したベース材(下)の端材を使用するとかい物厚の割出しが容易になります。
※既設枠下枠に傾斜がついている場合はくさびなどを使用し調整してください。
※既設枠下枠が凹形状になっている場合は、ゆがみ防止のため凹形状内にかい物を入れてください。

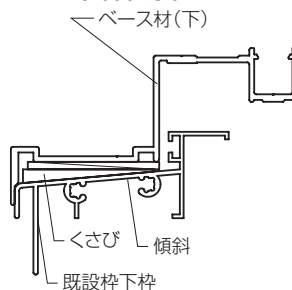
●下枠段差 ≤ 16mm



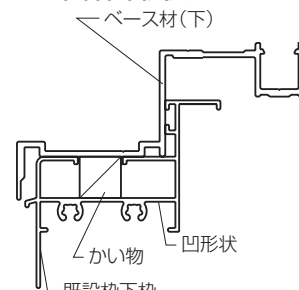
●下枠段差 > 16mm



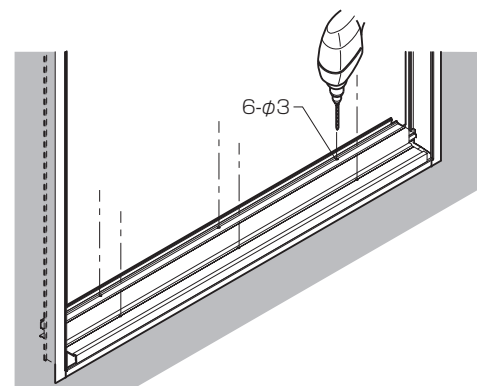
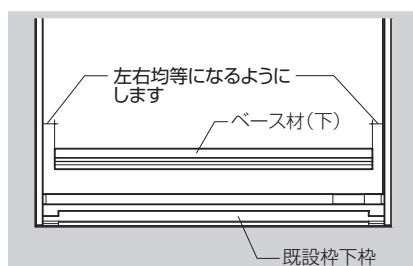
●下枠傾斜



●下枠凹形状



- ④既設枠下枠にベース材(下)をあて左右のすき間が均等になるように配置します。
- ⑤ベース材(下)の取付け穴($\phi 4.2$)に合わせて、既設枠及び躯体に $\phi 3$ の下穴をあけます。

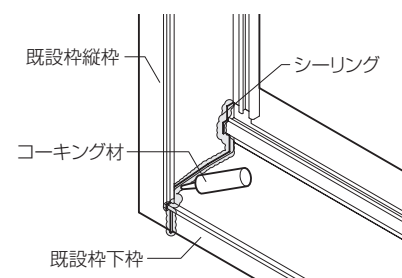


- ⑥いったんベース材(下)を外した後、既設枠四方枠を清掃し、プライマーを塗布後、既設枠の縦枠と下枠の取合い部をシーリング処理します。

・シーリングなど接着不良が生じないよう上・下・縦枠の油やホコリを取除いてください。

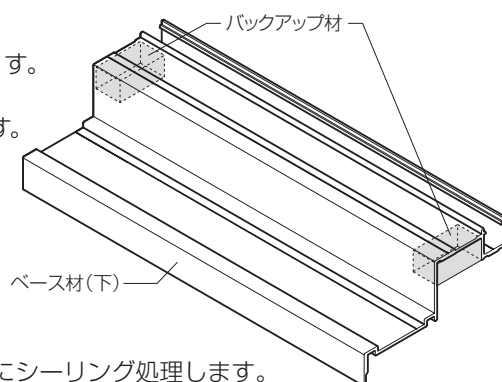
※既設枠の縦枠と下枠の取合い部に挟み込まれているコーキングシーラーの経年劣化による止水性能の低下のおそれがあるため、すき間から水が入らぬよう図のように必ずシーリング処理してください。

※コーキング材専用のプライマーを塗布後、放置(夏20分、冬30分以上)し、乾燥させてください。又、8時間以内にシーリング処理してください。



- ⑦ベース材(下)の両端にバックアップ材を入れます。(右図参照)

※P.16シーリング処理時のバックアップ材になります。

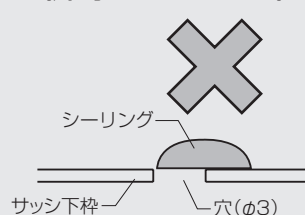
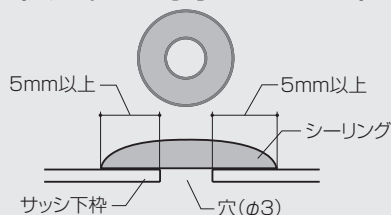


- ⑧下穴をシーリングします。

・既設枠下枠にあけた穴にシーリング材を盛るようにシーリング処理します。

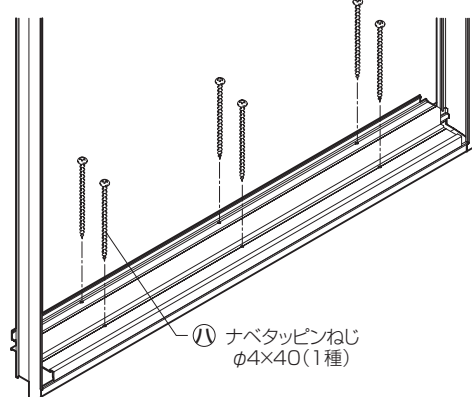
▲ 注 意

- 穴が完全にふさがるようにシーリングしてください
(穴を中心に均等にシーリング) (片寄ったシーリング)



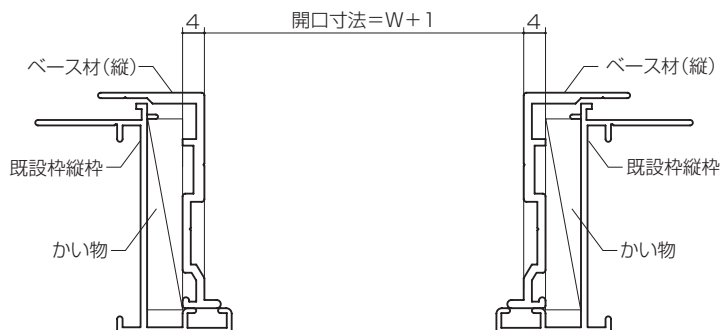
- ⑨ベース材(下)を既設枠の上からねじで固定します。

※ナベタッピンねじ $\phi 4 \times 40$ でねじかかり寸法が20mm未満の場合、ナベタッピンねじ $\phi 4 \times 65$ を使用してください。

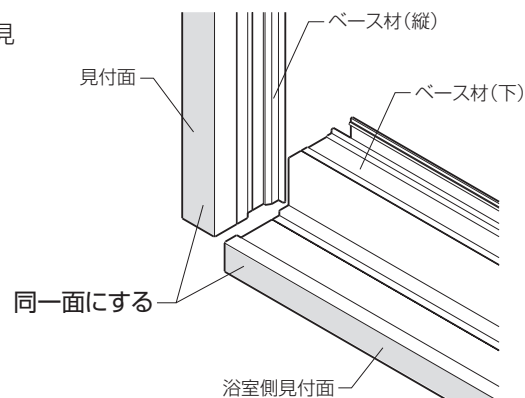


■ベース材(縦)の取付け

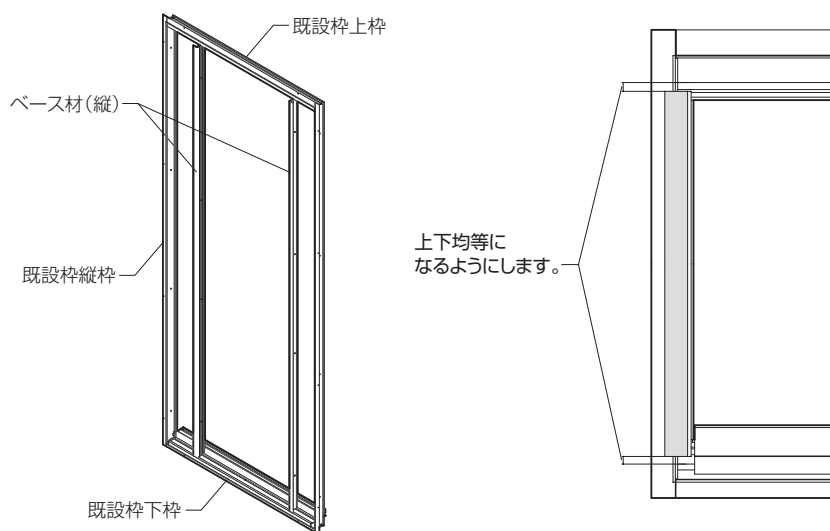
- ①ベース材(縦)の開口寸法が「製品基本W+1」になるよう、既設枠縦枠の内側にかい物を両面テープなどで取付けます。



- ②ベース材(下)の浴室側見付面とベース材(縦)の見付面が同一面になるよう垂直を出します。

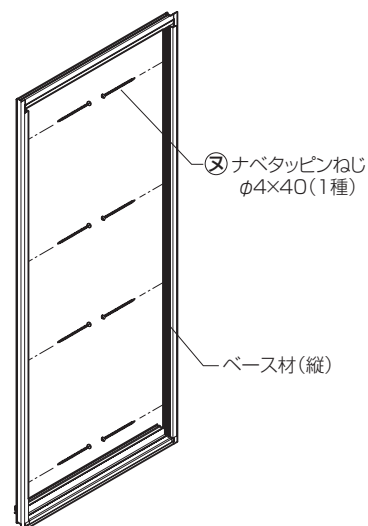


- ③ベース材(縦)を既設枠上下枠とのチリが上下均等になるよう配置します。



- ④ベース材(縦)の取付け穴($\phi 4.2$)に合わせて既設枠及び躯体に $\phi 3$ の下穴をあけます。

- ⑤ベース材(縦)を既設枠の上からねじで固定します。



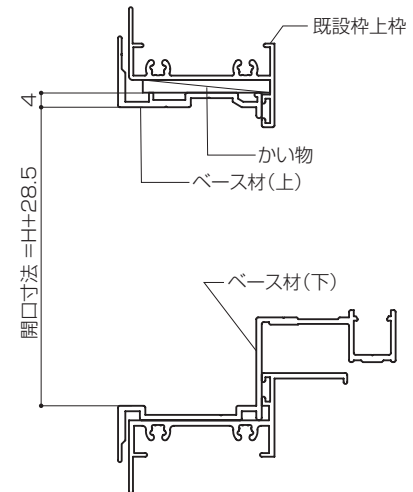
■ベース材(上)の取付け

①ベース材(上)とベース材(下)の開口寸法が「製品基本H+28.5mm」になるよう既設枠上枠の内側にかい物を両面テープなどで取付けます。

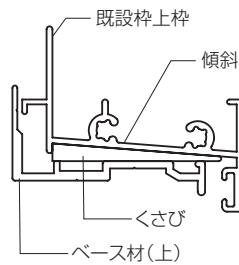
※かい物厚の目安は2mm程度になります。

※既設枠上枠に傾斜がついている場合はくさびなどを使用し調整してください。

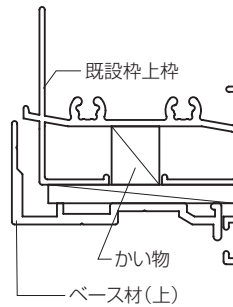
※既設枠上枠が凹形状になっている場合は、ゆがみ防止のため凹形状内にかい物を入れてください。



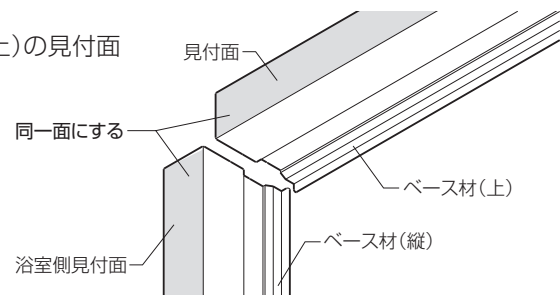
●上枠傾斜



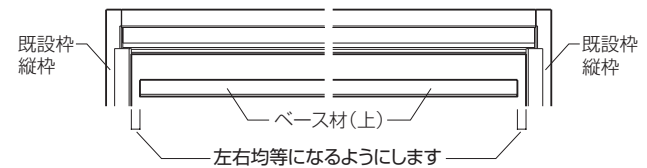
●上枠凹形状



②ベース材(縦)の浴室側見付面とベース材(上)の見付面が同一面になるよう水平を出します。



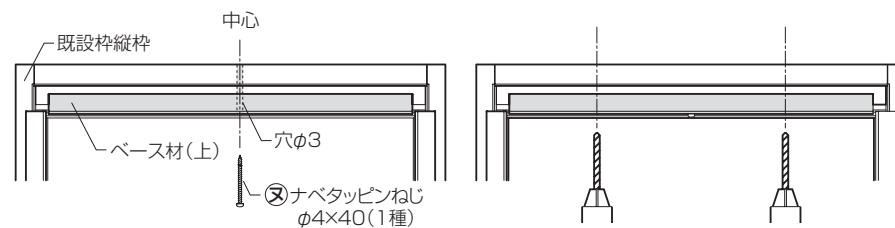
③ベース材(上)を既設枠縦枠とのチリが均等になるよう配置します。



④ベース材(上)の取付け穴(φ4.2)に合わせて既設枠及び躯体にφ3の下穴をあけます。

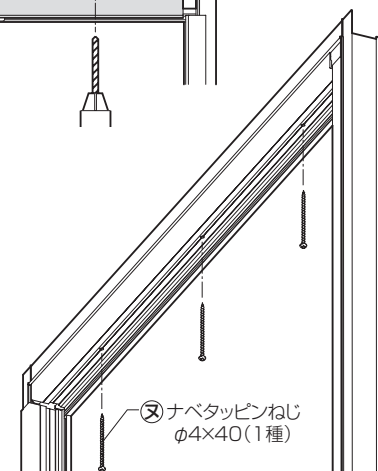
中央に1ヵ所穴を開けた後、ベース材がずれないようにねじで仮止めします。

残りの下穴を開けます。



⑤ベース材(上)を既設枠の上からねじで固定します。

※ナベタッピンねじφ4×40でねじかかり寸法が20mm未満の場合、ナベタッピンねじφ4×65を使用してください。



▲注 意

●躯体に取付ける際は、枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじ込み深さ20mmの時、1.2N・m(12kgf・cm)以上であることを確認してください。

新しい枠の取付け

■取付け順序

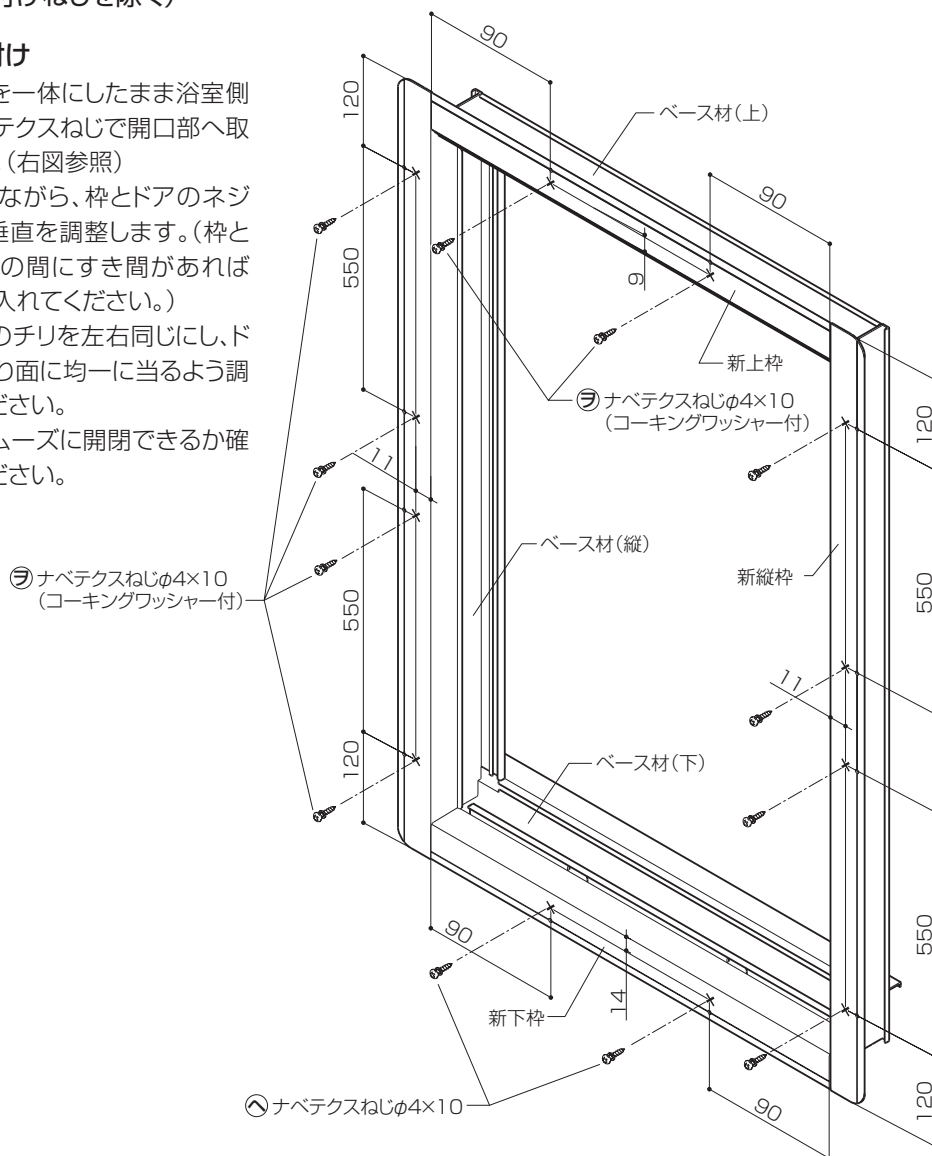
1 枠の取付け

■取付け詳細

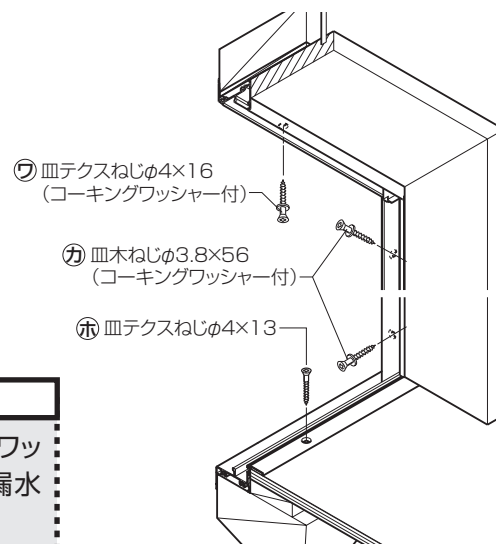
※枠の取付けねじは、改装用部材に同梱のねじのみ使用してください。
(把手取付けねじを除く)

1 枠の取付け

- ①ドアと枠を一体にしたまま浴室側からナベテクスねじで開口部へ取付けます。(右図参照)
- ②仮止めしながら、枠とドアのネジレ・水平・垂直を調整します。(枠とベース材の間にすき間があればかい物を入れてください。)
- ③ドアと枠のチリを左右同じにし、ドアが戸当り面に均一に当るよう調整してください。
- ④ドアがスムーズに開閉できるか確認してください。



- ⑤上縦枠の皿押穴に合わせて、ベース材及び既設枠にφ3の下穴をあけます。
- ⑥皿木ねじ・皿テクスねじで枠を固定します。



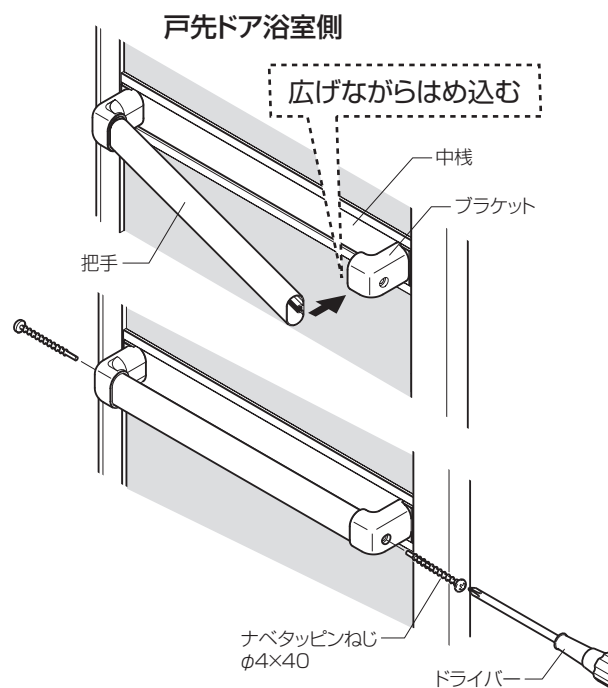
▲ 注 意

●上・縦枠取付けねじのコーキングワッシャーは外さないでください。漏水の原因となります。

2 把手の取付け 【中折ドアSF型】

2 把手の取付け【中折ドアSF型】

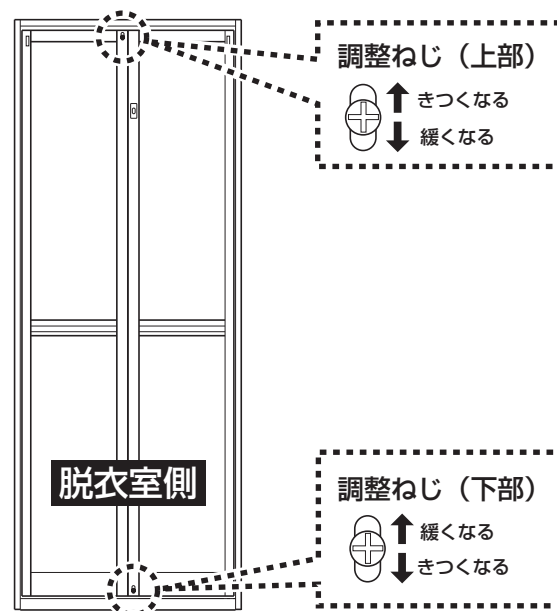
- ①戸先ドア浴室側の縦框中棧部にブラケットを根元にすき間がなくなるまで差込みます。
- ②把手(アルミ形材)を片側に斜めにしてはめ込み、もう片側はブラケットを広げながらはめ込みます。
- ③ブラケットと把手をねじ止めします。



3 ラッチの調整

3 ラッチの調整

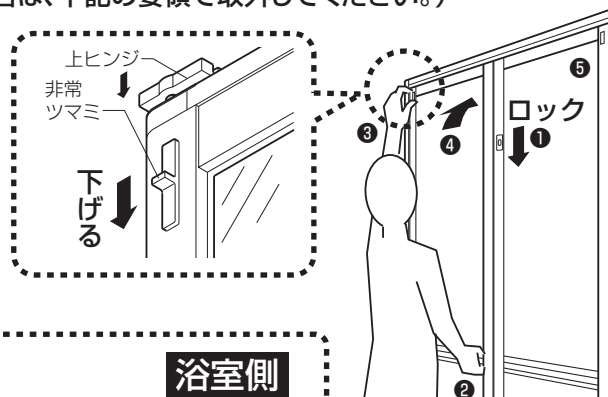
- ドアの開閉を行い、閉まり具合を確認します。
- ※ドアの開閉がきつい、または緩すぎる場合は右図のラッチ調整ねじ(上部・下部)を調整してください。



■ドアの取外し方

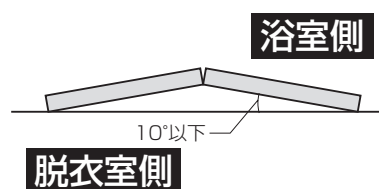
■ドアの取外し方(施工の妨げになる場合は、下記の要領で取外してください。)

- ①ロックを解錠します。
- ②把手を握ります。(ドアが外れるまで離さないでください。)
- ③左上の非常ツマミを下げます。
- ④ドアを押して上枠レールから上ヒンジを外します。
- ⑤右側も同じ順序で外してください。
- ⑥ドアを持ち上げて枠から取外してください。



お願い

- 下ヒンジにはドアをせり上げる機構を採用しているため、完全な開状態ではドアを外せません。ドアを約10°以下に閉じた状態で外してください。



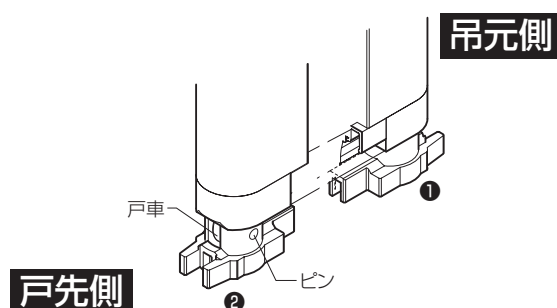
■ドアの吊込み方

■ドアの吊込み方

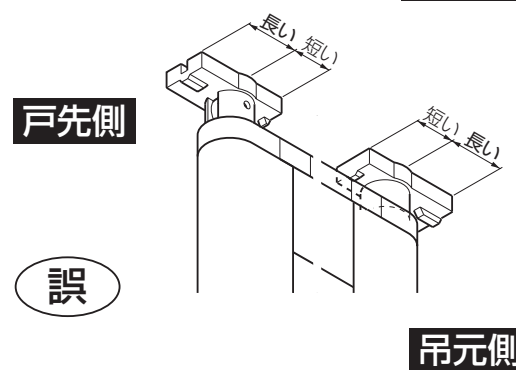
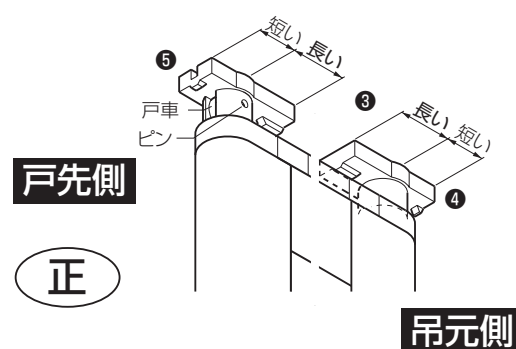
- ①下ヒンジの吊元側を右図の向きにして、レール端部の切欠きにはめこみます。
- ②下ヒンジの戸先側を右図の向きにして、レールにはめ込みます。
- ③上ヒンジの向きは左右とも長い方が、両方内向きになるよう回転してください。(右図参照)
- ④上ヒンジの吊元側の非常ツマミを下げ、レール端部の切欠きにはめ込みます。
- ⑤ドアを10°以下に閉じた状態で上ヒンジの戸先側をレールにはめ込みます。

【上下ヒンジの吊込み時の向き】

■下ヒンジの向き

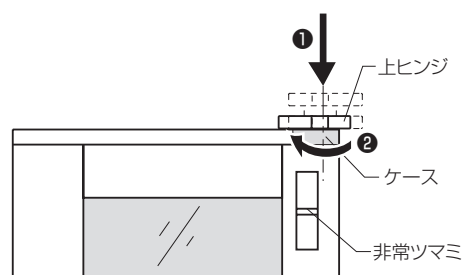


■上ヒンジの向き



【非常ツマミで上ヒンジが操作できない場合の対処方法】

- ①上ヒンジの向きを(誤)の状態にし、ケースにあたるまで押込みます。
 - ②押込んだ状態で上ヒンジを180°回転(正)の状態させます。
- ※①、②の操作で、非常ツマミで上ヒンジの操作ができるようになります。



お願い

- ドアを枠に吊込む際は、必ず上ヒンジの長い方が両方内向きになっていることを確認してから吊込んでください。
- ※非常ツマミで上ヒンジが操作できない状態で無理にドアを吊込むと外せなくなります。

■ドアの吊元交換

■ドアの吊込み方

- 商品出荷時の吊元は、浴室側から見て右吊元でセットされています。左吊元で使用する場合は、下記作業が必要です。

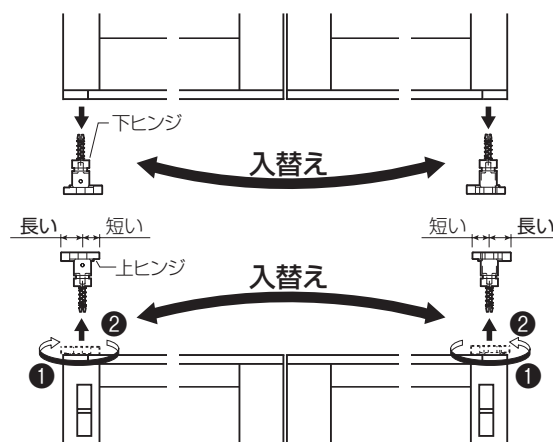
【ドアの取外し】

※ドアの取外し方に従い取外してください。

【下ヒンジの吊元交換】

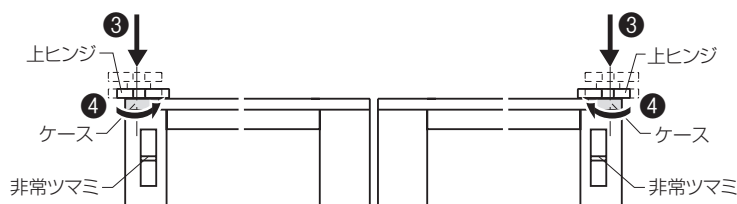
- 下ヒンジの吊元側と戸先側を引抜き、逆に入替えます。

※戸先側には戸車が内蔵されています。



【上ヒンジの吊元交換】

- ①上ヒンジの向きを、長い方が外向きになるように回転します。
※非常ツマミで上ヒンジを操作できない事を確認してください。
- ②上ヒンジの吊元側と戸先側を引抜き、逆に入替えます。
※戸先側には戸車が内蔵されています。
- ③上ヒンジの向きを長い方が外向きの状態にし、ケースに当たるまで押込みます。
- ④押込んだ状態で上ヒンジを180°回転(長い方が内向きの状態)させます。



【ドアの吊込み】

※ドアの吊込み方に従い吊込んでください。

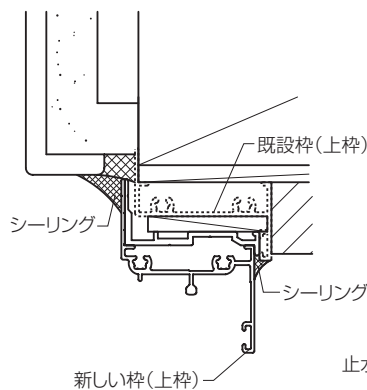
■枠外周部のシーリング処理

- ①既設枠と新しい枠の接合部(四方)にコーキング材を充てんします。
 - ②ベース材(下)と木額のすき間にコーキング材を充てんします。
- ※止水シール材の端面を覆うように充てんしてください。

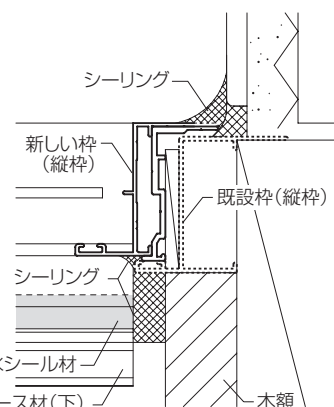
▲ 注 意

- 指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

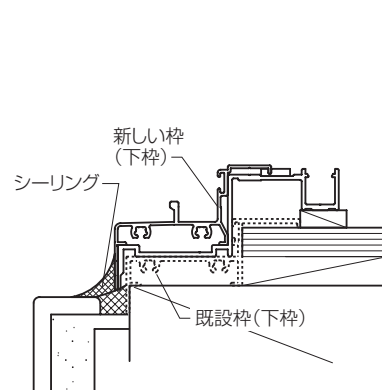
●上枠部



●縦枠部



●下枠部

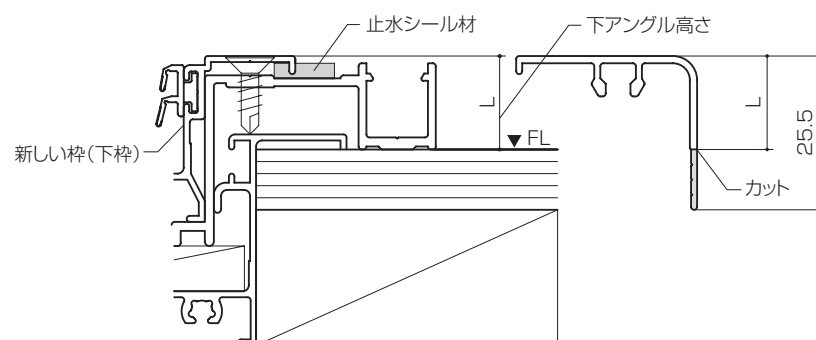


■枠外周部の シーリング処理

■カバー材の取付け

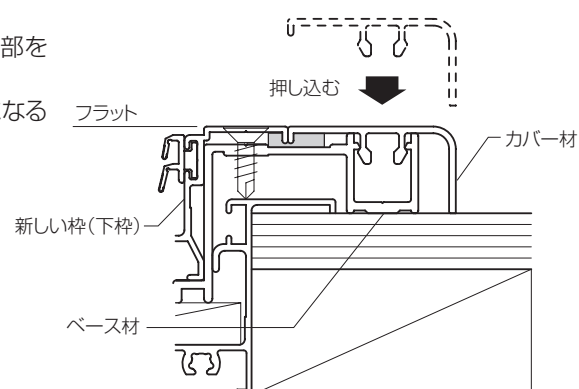
■カバー材の取付け

- ①カバー材を現場の床面に合わせて切断します。
※(25.5mm-下枠アングル高さ)がカバー材の切断する高さになります。



- ②ベース材(下)のかん合部に、カバー材の突起部を合わせて上から押込みます。

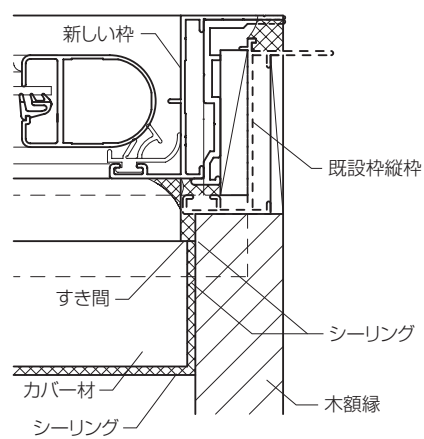
※下枠アングル上面とカバー材上面がフラットになるまで押込んでください。



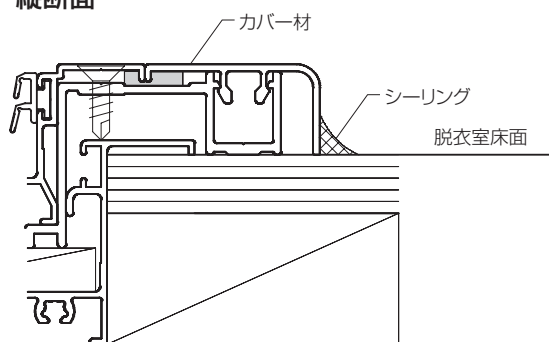
- ③カバー材の端部をシーリング処理します。

※既設枠縦枠とカバー材の間にすき間がある場合は、すき間をシーリングで埋めてください。

横断面



縦断面



製品を正しく取付けいただくための

浴室ドア 改装用部材 取付けチェックポイント集

- 1.現場チェック項目一覧
- 2.現場調査前確認事項
- 3.現場調査時確認事項
- 4.取付け現場採寸時の確認事項

1.現場チェック項目一覧

■現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただく為に、下記項目を必ず確認してください。

	チェック項目	チェック
事前に電話等で 確認する項目	取付ける建物の構造は木造床納まりですか？	はい・いいえ
現場にて 確認する項目	取付ける柱への枠の取付けねじ込み深さは20mm以上ですか？	はい・いいえ
	取付ける柱が腐っていませんか？	はい・いいえ
	既設枠開口周り(外壁など)に漏水のあとはありませんか？	はい・いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじのねじ込みトルクはねじ込み深さ20mmの時1.2N・m(12kgf・cm)以上ですか？	はい・いいえ
	既設枠の開口寸法は指定個所を測定した結果、下記の制作可能寸法範囲内ですか？	はい・いいえ
	周辺環境(軒天、入隅納まり)において製品取付けに支障はありませんか？	はい・いいえ

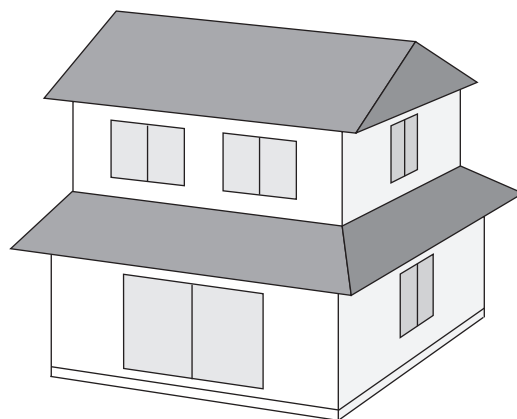
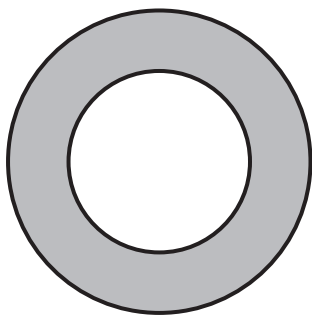
●浴室中折れドアSF型製作可能範囲：1270≦H≦2020 580≦W≦850

2.現場調査前確認事項

- 浴室ドア 改装用部材は木造土間専用です。
※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

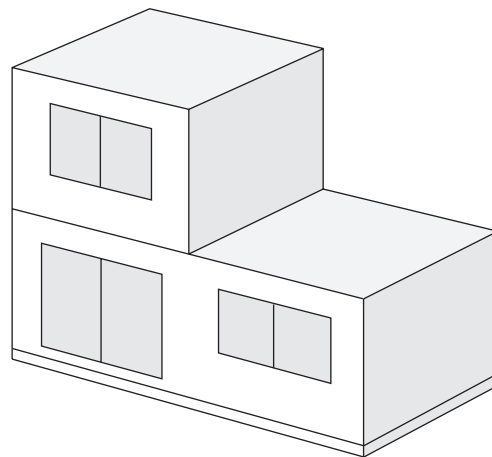
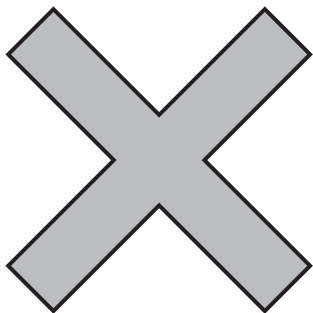
■取付け可

- 在来木軸工法、204構造等木造土間納まりに取付けてください。



■取付け不可

- 鉄骨造、RC造、ALC納まりなどには取付けしないでください。

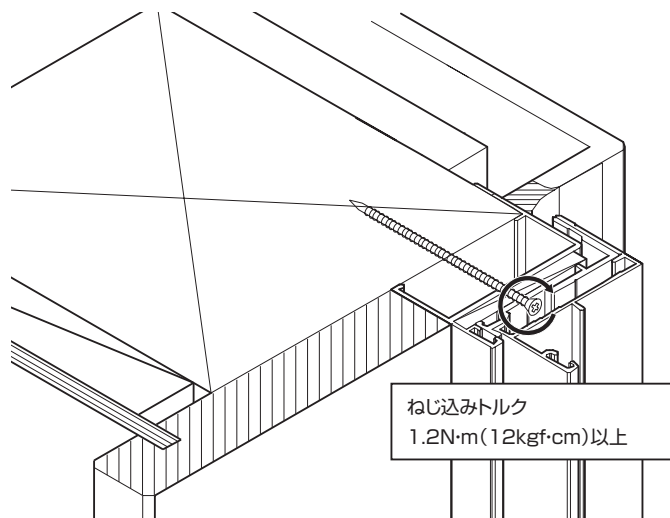
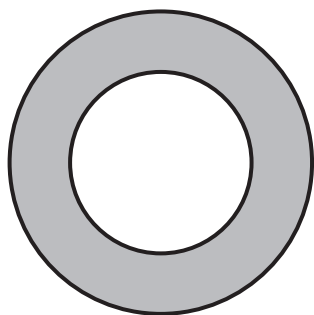


3-1.現場調査時確認事項

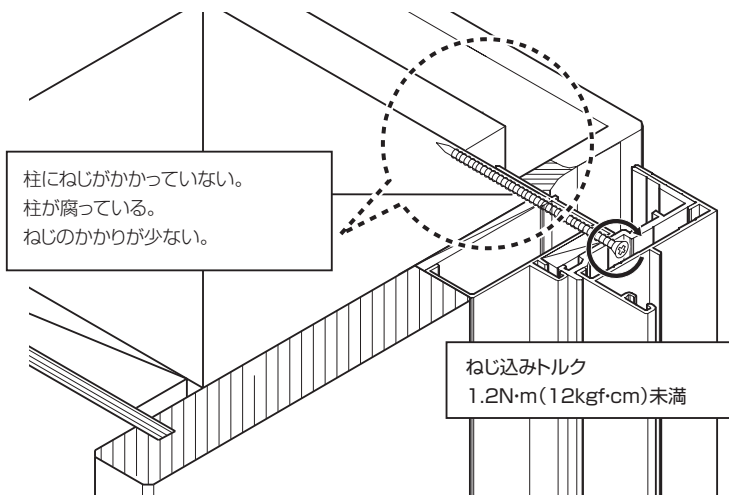
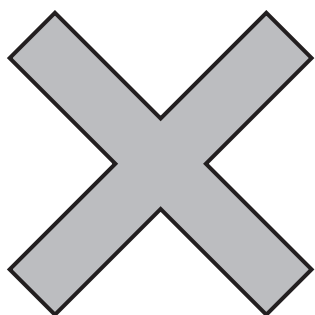
- 躯体取付けねじのねじ込みトルクが、ねじ込み深さ20mmの時 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上あることを確認してください。

■取付け可

- 指定のねじ（上枠：ナベタッピンねじ $\phi 4\times 65$ 、縦枠：皿木ねじ $\phi 3.8\times 56$ ）が上記の柱位置で $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。

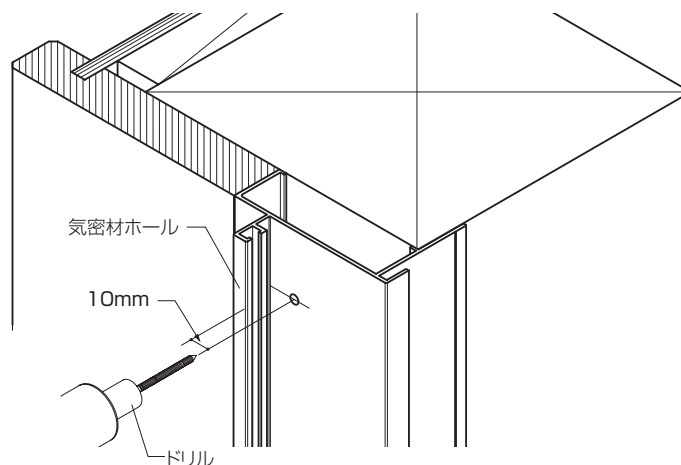


■取付け不可

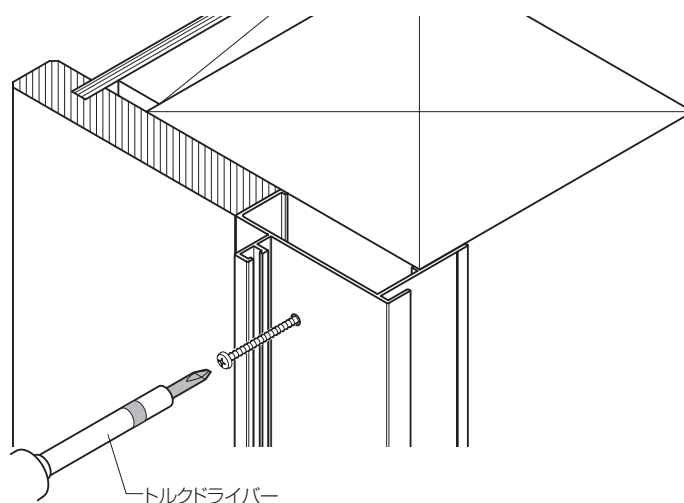


[ねじ込みトルクの確認方法]

①新しい枠を取付ける際の既設枠気密材ホールから浴室側へ10mmの位置にφ5の穴をあけます。



②新しい枠の取付けねじ（ナベタッピン1種φ4×65）を取付けます。そのときのねじ込みトルクは1.2N・m（12kgf・cm）であることを確認してください。確認後の穴はシーリング処理にて穴をふさいでください。

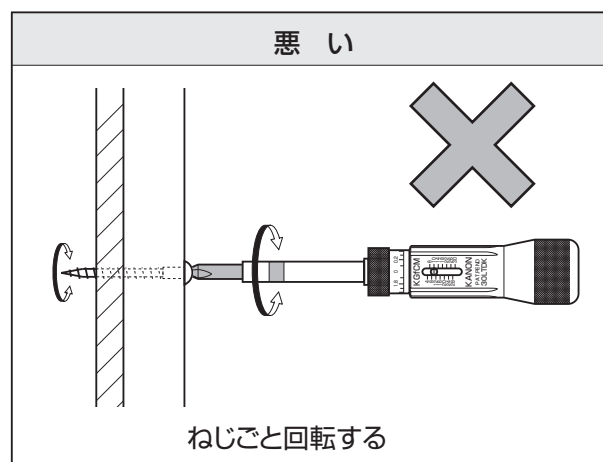
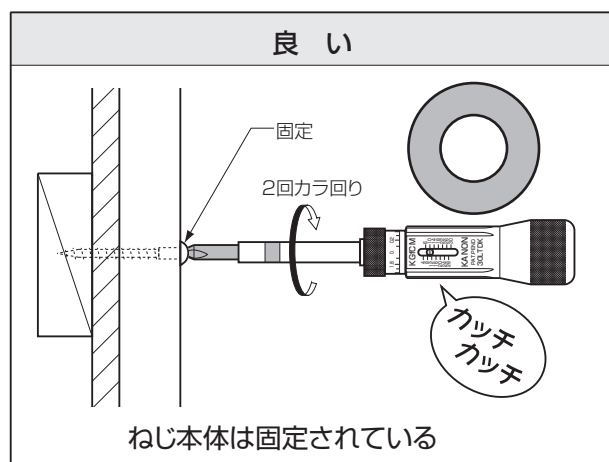
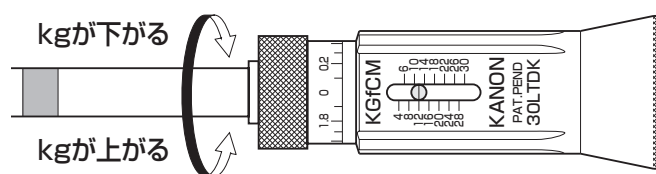


▲ 注 意

●ねじ込みトルクはねじ込み深さ20mmの時1.2N・m(12kgf・cm)であることを確認してください。

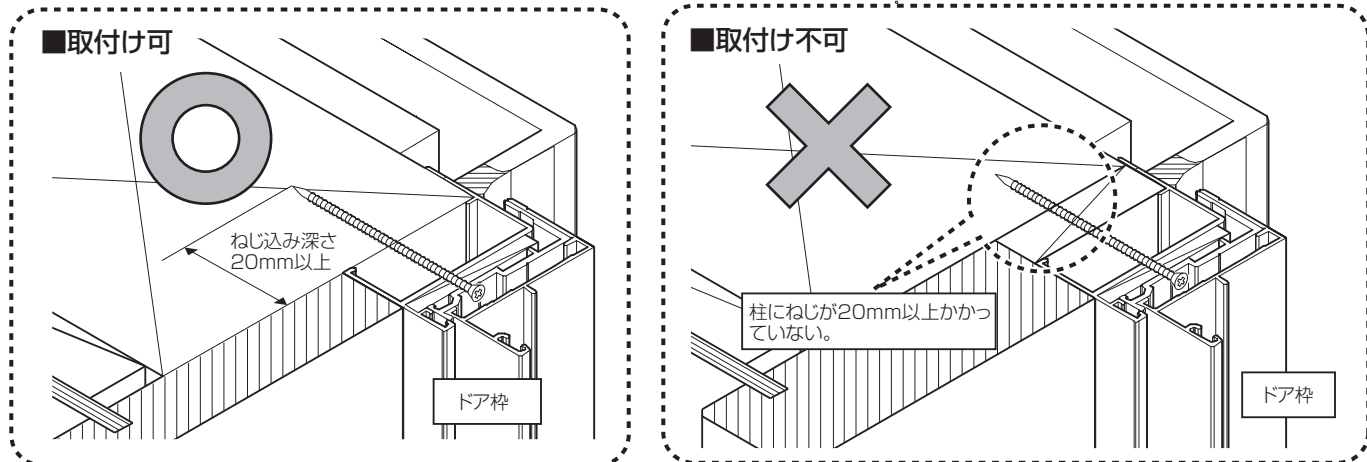
■トルクドライバー目盛合わせ

トルクドライバー目盛り合せ設定
1.2N・m(12kgf・cm)



3-2.現場調査時確認事項

● 枠取付けねじは柱(躯体)に20mm以上かかることを確認してください。



【ねじ込み深さの確認】

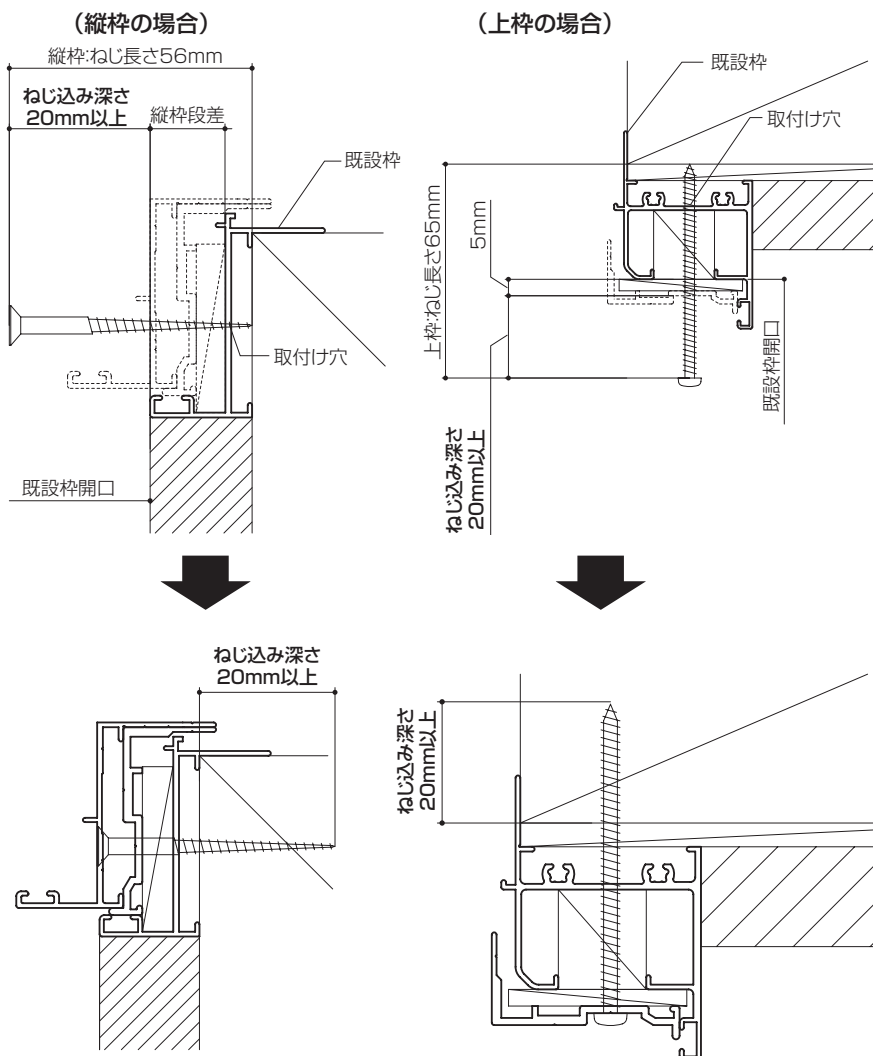
躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、既設枠開口からねじ頭までの長さが、上枠は25mm以上、縦枠は20mm以上であることを確認してください。上記寸法未満の場合は脱落のおそれがある為取付けないでください。

※縦枠用…ねじ長さ56mm

※上枠用…ねじ長さ65mm

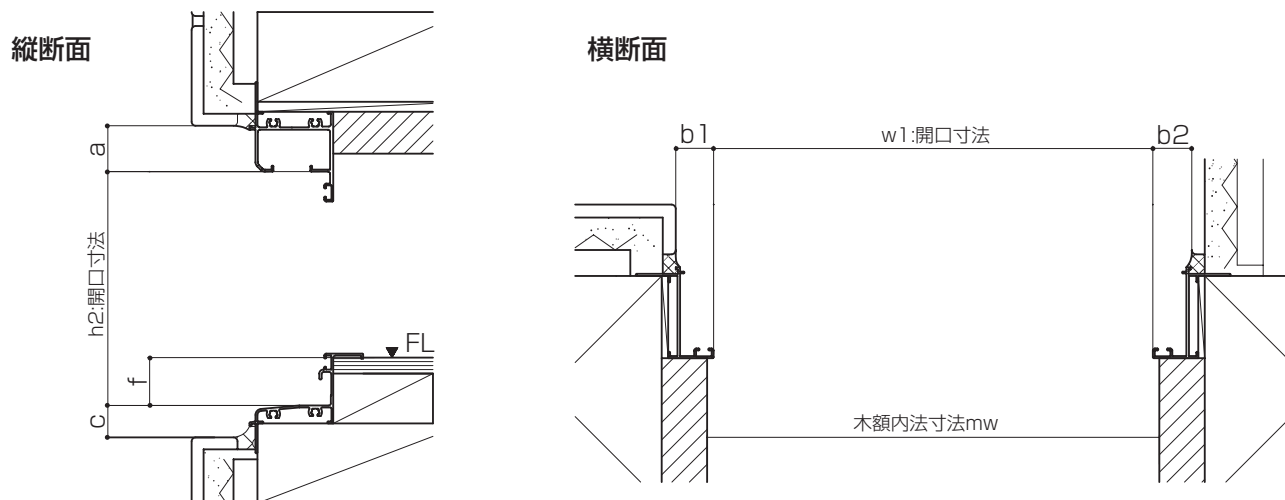
▲ 注 意

● ねじ込み深さは必ず20mm以上であることを確認してください。20mm未満の場合は取付けないでください。



4.取付け現場の採寸時確認事項

取付け現場の採寸は下記条件に適合するかを確認してください。



①製品製作範囲による条件

既設枠開口部の寸法測定を行い、製品基本寸法を算出し製品製作範囲内であることを確認ください。

(単位:mm)

■製品基本寸法設定

●採寸箇所は上図に従ってh2・w1寸法を測定してください。

※既設枠開口寸法は、h2・w1とも各2箇所以上測定し、それぞれ小さい方の寸法に決めます。

既設枠開口寸法		新ドア製品寸法	
		基本寸法	基本寸法公式
h2	h2❶:	H=	f≤16のとき H=h2(※)−39
	h2❷:		
f: (下枠段差)			
w1	w1❶:	W=	W=w1(※)+10
	w1❷:		
mw: (木額内法W)		空欄に寸法を記入して使用してください。	

■製品製作範囲

●新ドア製品の製作可能範囲はP.18を参照してください。

②既設枠形状による条件

既設枠寸法による条件		
a:		a≤19のとき、ベース材(上)と新ドア上枠のフィンを切り落とします。
		a<10のとき、10mmを越えるよう内側にふかします。かい物が厚くなりH寸法が小さくなります。
b	b1:	b≤24のとき、ベース材(縦)と新ドア縦枠のフィンを切り落とします。
	b2:	b<16のとき16mmを越えるよう内側にふかします。かい物が厚くなりW寸法が小さくなります。
c:		c≤12のとき、ベース材(下)と新ドア下枠のフィンを切り落とします。
		c<7のとき、7mmを越えるよう内側にふかします。かい物が厚くなりH寸法が小さくなります。

[illegible]

[illegible]

MAK-36A
ZZB2
2008年5月1日発行



トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。